

Christian Breaker

【7】「賛美」を Break する：出エジプト記15:1-21 (2007.07.04分)

「シャロン」です。とうとう 3週続けて、礼拝に出れず、インターネットの御言葉も、今週は3分の1程度しか聞けず、テンションがかなり下がり気味です。先週の我が家の状態も、私の状態がよくないためであることは重々わかっているのですが…。「魂が乾く」とは、こんな状態なのかもしれません。祈りがいっしょに減ったり、いらいらすることが増え、待つことができなくなる。子供へのお言葉も自然と多くなる。特に下の娘の「マイペースさ」は、私の「いらいら」の原因になりやすくなります。全くこちらの話が入らない、本人は楽しく遊んでいるのですが、やること成すことが「かわいくない」と思えてくる。すると、きーちゃんはいつものまにか私の目の前に「ややこしい子」と、現前するのです。魂が潤っていると、この「ややこしい子」という見方から、目をそらせることができるのですが、乾いていると、こちらが切り替えられなくなる。親の気を引くためにすることすべてが「わずらわしく」思える。こうなると、もう最悪です。この「いらいら」は、伝染し、上のみーさんが「キーキー」いっしょにだして、きーちゃんはそのおねえちゃんが面白くて、ちょっかい出す。母、爆発！！そこへ、父が帰って来ると、「もっとはやく帰って来てよ！」と、母の顔が怒っているらしく、父もついつい子供たちを怒りモードで接してしまうのです…。

今週のメッセージテーマは「賛美」についてでした。ここで言っている「賛美」とは、「歌う」ということではなく、「今、心にある神への愛や感謝をささげること」とありました。私は、5年ほど前、神様から完全に離れた時期があります。「捨てた」ということではなく、全く礼拝に出ることをしなくなりました。忙しい職場で、子供を抱えながらの生活であったこと、行っていた教会がなくなってしまったことなどが重なり、新しい教会を探すこともせず、そのまま過ごしていました。「乾いていた」状態であったのだと思うのですが、祈ることも賛美することもなかった生活でした。ただ毎日を「こなしていた」ように思います。そんな中でも、以前お話したように、他の兄弟姉妹の祈りによって、教会が示され、一度行ってみることにしました。礼拝に参加し、賛美をうたい始めたとき、涙があふれて止まらなくなりました。理由なんかわからないけれど、とにかく涙が流れて仕方ありませんでした。神様が、魂に触れられて、まさに「魂を揺さぶられた」というような体験でした。なかなか、日曜日以外は参加できない状態ではありましたが、神様が一人姉妹を用意してくださって、いつも私に声をかけてくださいました。馴れるまでは、その姉妹に会いに行っていたといっても過言ではありません^(^^)。実はある時期に、その姉妹は牧師と意見が合わず、何人かの姉妹たちを連れてその教会を去ってしまうのですが、彼女がいなければ今の私はいないと思います。その後は、下の子を与えられて、産休・育休に恵まれ、時間に余裕のある生活になりました。その頃から、うちの教会では年代別にグループを作り「コイノニア」という交わり会を主体に動いていました。その集まりに、自宅を開放し、その交わりによって、私も大変恵まれることができました。復職しても、姉妹たちが大学まで出張してくださって、交わりを楽しむことができました。いろんなことがありながらも、ここまで信仰生活が続けられているのも、主がいつも必要ときに、必要な人、物、時間を与えてくださるからだだと思います。

先週の日曜日は、実は弟の結婚式でした。4人兄弟の末っ子の長男、昭和一桁の父の期待を一身に背負い、プレッシャーにつぶれそうになったことも何度も…。でも今は、かわいい奥さんを迎えることができました。実はこの弟が信仰のない^(^^)アマチュアゴスペルシンガーでして、披露宴にはプロのゴスペルシンガーさんたちが歌ってくれました。感想は「上手いけど魂に響いてこんな～」というのが正直なところでした。礼拝で歌っているのとは、全く違うのです。賛美に必要なのは、歌唱力でも音量でもなく、「信仰」なのだ。と、再認識した瞬間でした。

今、感じていることは「賛美も「メッセージ」も「生」が良いということです。来週の日曜日こそ、「生」で聞かす！！と意気込む「シャロン」でした。また皆様、礼拝でお会いしましょう^(^0^)。では失礼いたします。